

## グローバルな視点に立った 地域支援教育・研修

### 1. バリデーションに関するワークショップ

地域支援プロジェクトでは、認知症の方とのコミュニケーション法であるバリデーションに関するワークショップを11月1日に、鹿児島市で開催いたしました。フランス・パリからバリデーションのティーチャーであり、American Hospital of Paris で看護師・通訳としても活躍されているダブー・福先生をお招きしました。ワークショップは、福祉・介護職・医療職、大学院生など、約25名が参加しました。今回の会場は、鹿児島市の認定NPO法人せせらぎ（理事長松元優子氏）の共生ホームせせらぎ荘をお借りし、近隣の地域住民の方にも参加を呼びかけました。

ワークショップでは、デモンストレーションやロールプレイを中心に双方向的な演習を行いました。終了後も、中庭のカフェで参加者とフランスの福祉介護の様子を聞くなど、和やかで充実した交流となりました。

#### ～プログラムの概要～

- ・海外の認知症ケアや医療におけるバリデーション法の導入
- ・バリデーション法の実践とテクニック

#### 【参加者の感想】

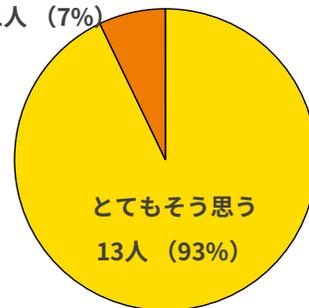
- ・ダブー・福先生の解決のステージ迄の表現・演技を見ていると、私が出会った認知症の皆様の顔が浮かび、涙ぐんでしまいました。先生方の熱意を感じ、是非ワーカーを目指したいと思いました。
- ・対応に困って最終的に、本人様の気持ちにどう寄り添えば良いのか、迷っていた部分の答えが見えたように思う。



ワークショップの様子

少しそう思う

1人 (7%)



とてもそう思う

13人 (93%)

研修会は役立つと思われましたか？

## 2. アジアにおける心理臨床の展開

「アジアにおける心理臨床の展開」と題し、マレーシア国立大学の Gan Chun Hong 先生をお招きし学内研修会を開催しました。第1部では、マレーシアにおける心理臨床の実際や心理学教育のカリキュラム内容、現地臨床心理士の活動内容などについてご講演いただきました。第2部では、アジアにおける福祉臨床と臨床心理士の役割について、福岡市子ども総合相談センターの壺内麻子先生と Gan 先生の議論を軸に、特に子どもの支援をめぐるアジアにおける心理臨床の展開についてディスカッションを行いました。参加大学院生にとっては、国際的な視野の中での心理臨床の展開を感じる貴重な機会になったようです。

### ～研修の概要～

- ・マレーシアにおける臨床心理士の位置づけ
- ・マレーシアにおける心理臨床の実際
- ・アジアの福祉臨床における臨床心理士の役割



研修会の様子

### 【参加者の感想】

- ・マレーシアの心理臨床における現状のお話を聞く機会など滅多にないので大変興味深かったです。カウンセラーと臨床心理士が違うという点が日本とは認識が違っていました。
- ・他国の臨床がどんな状況なのか考えたことがなかったためとても視野が広がったような気がします。
- ・異文化や異言語、宗教等が混在する環境は、日本ではあまり想像がつかないので、その状況での取り組み等も聞くことが出来ておもしろかった。
- ・福祉領域の具体的な話や、国の枠を超えた心理士としての在り方について、理解が深まった。
- ・社会的養護の現場に携わっていたご経験からの考察や制度、現状を学べ、リアルに想像ができ、どういった支援が必要か考えやすかった。

## 第3章

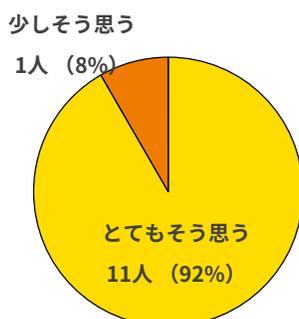
### 3. ADOS-2 入門研修

Southwest Autism Research & Resource Center の稲田尚子先生をお迎えし、2015年に刊行されたばかりの自閉スペクトラム症のアセスメントツール ADOS-2 日本語版入門講座を開催しました。稲田先生は ADOS-2 日本版の監修・監訳者の一人です。

午前中は、国際水準での自閉症スペクトラム児者に対するアセスメント技法やツールについてご講演いただき、午後は ADOS-2 の実施の仕方や採点方法について映像資料や実技を交えながらご説明いただきました。参加大学院生にとっては、ADOS-2 の実施方法を学んだだけでなく、自閉スペクトラム症に対するアセスメントの変遷を理解する貴重な機会となったようです。

#### ～研修の概要～

- ・自閉スペクトラム症の包括的理解
- ・自閉スペクトラム症のアセスメントの実際
- ・ADOS-2 日本語版実施・採点方法



研修会の様子

#### 研修会は役立つと思えましたか？

##### 【参加者の感想】

- ・自閉スペクトラム症児者のアセスメントの最先端のお話を聞くことができ、しかもとても分かりやすく説明いただけて、ありがたかったです。
- ・ADOS-2 や M-CHAT のコンセプトや開発の流れに関する話を聞いて、アセスメントツールについて、道具としてだけでなく、その背景について知る事に興味を持てた。
- ・自閉症のアセスメントのツールの1つを知ることができ、とても勉強になりました。この ADOS-2 を活用する人・施設が増えることで、自閉症や ASD の人たちの支援も今よりさらによくなるのではと思い、興味深かったです。